

# Victory

NO.1

令和5年4月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

4月の風が木々の若葉を躍らせながら吹き抜ける季節となりました。まさに春爛漫の中、新たな一年が始まりました。進級、入学おめでとうございます。

今年度もこの図書館通信を通して、様々な情報を発信していきたいと思えます。いつ・何を・どのように伝えるか、そして何より「伝わるか」を大切にしたいと心掛けていますが、先日読んだ新聞のコラム欄はその思いを新たにすきっかけとなりました。

▶「人に何かを伝えるときは必要十分条件ではだめで、必要十二分条件を言わなければ真意は伝わらない」。(元高知工科大学・磯部正彦学長の言葉) ▶記事は、ちょっとした表現で意味が変わることがある。内容を理解して全体の構想とともに細部にまで気を配る必要があり、…▶「読まれて初めて新聞記事になる。読み手を意識してほしい」

～「日刊建設工業新聞」2023.3.31 回覧窓～

抜粋した部分は、取材した大学学長の他者に対する真摯な態度が言語化された言葉であり、記者自身の体験を通じた記事作りに対する思い、そしてこの日をもって退職するベテラン記者からのメッセージです。これらに共通するのは、自身が身を置いている場から発信することの原点を常に見失わずにいるということでしょうか。私たちが向き合うさまざまなことには、意味があります。「木を見て森を見ず」という言葉がありますが、つい目の前のことにのみ埋没し、なぜ今そのことと向き合っているのかという全体像を見失ってしまう時に使われます。改めて、その根源的な部分に立ち返る時間を持つことの大切さをかみしめて、一步を踏み出したいものです。



## 開館しました!



4月9日(日)から図書館は開館しました。春休み長期貸出を利用した人は、今週中に返却しましょう。新入生のみなさんは、図書館オリエンテーションを受けた後から貸出が始まります。

学校図書館の利用を通して、情報収集の達人になりましょう。わからないことがあったら、いつでも声をかけてくださいね。

～利用規程～

◎開館時間：8：20～18：00

◎貸出冊数：5冊まで ◎貸出期間：2週間

◎サービス：予約、リクエスト、レファレンス、

◎端末の利用もできます(その日のうちに返却を)



## 図書館の蔵書構成と受入冊数

昨年度末時点の蔵書構成と昨年一年間に購入や寄贈で受け入れた資料冊数(雑誌以外)、除籍冊数をお知らせします。

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	総冊数
冊数	881	1,448	3,295	4,323	4,615	34,315
分類	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	
冊数	1,315	554	2,497	2,135	13,252	



## R4 年度の受入冊数 2,067 冊

## 除籍冊数 1,708 冊

\*除籍とは、蔵書構成の充実を図る目的で資料価値が古くなった本、破損や亡失した本を登録解除する作業です。

## 棚からひとつかみ「大丈夫かな、大丈夫だよ」



## 朝読、何読めばいい?そんな時は図書館へ

4月は、わくわくドキドキと不安が隣り合わせな不思議な月です。人によってその度合いが違うわけですが、こんな本はどうでしょう。読みながら、読後に変化した自分に会えるかも!?知識とフィクション(小説)から1冊ずつ選んでみました。



『<sup>エッセンシャル</sup>極 アウトプット 「伝える力」で人生が決まる』NDC002 カ 榎沢紫苑著 (小学館)

日頃、私たちはどのくらい自分の考えていることや感じていることをアウトプットしているでしょう。精神科医である著者が、10代の抱える悩みと向き合いながら感じてきたことをまとめたのがこの本。「コミュカがないのは、あなただけではない」、どうすればいいのか?答えは「アウトプットする回数を増やすこと」。そうは言ってもなかなか…と二の足を踏みがちですが、ちょっと待って!自分の興味関心のあることは、いくらでも話せるものです。あなたのコミュ下手解消をサポート!

『カモメに飛ぶことを教えた猫』NDC963 セ  
ルイス・セプルベダ著 (白水社)

猫のゾルバは、瀕死の状態で飛び込んできたカモメ・ケンガーが産んだ卵を育てることを誓う。彼は仲間たちの協力の下、生まれたヒナ・フォルトウナーを育てるが、飛んだことのない猫に果たして飛ぶことを教えられるのか…。猫たちのユーモラスな大奮闘に読者は惹きつけられるだろう。そして、自分と異なる者へのエンパシーの大切さを感じるとともに、意志ある所に道は拓けるということも。最後に作品の根底には、著者の体験があることを紹介する。



本校は、「朝の10分間読書」の時間を設けています。早速、朝読の時間が始まるにあたり「なぜ読むのか?」を考えてみる機会にしてみませんか。

学校で毎朝、ホームルームや授業の始まる前の10分間、生徒と教師がそれぞれに、自分の読みたい本を読む「朝の読書」活動。「みんなでやる」「毎日やる」「好きな本でよい」「ただ読むだけ」を原則とした感想文や評価のない自由な読書活動です。

(TOHAN 朝の読書ホームページより) 詳しくはHPにアクセス。

<https://www.tohan.jp/csr/asadoku/>



図書館では、「朝読、何読む?」というテーマでいろいろなジャンルの本をセレクトして展示しています。困ったときは図書館へ、あなたの朝読をサポート!



## 扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

社会と利用者(学校では生徒のみなさん)をつなげるハブとしての役割も図書館の大切なサービスの一つです。今年度も本にまつわるさまざまなイベントの紹介や講演会、コンテンツを紹介していきたいと思えます。

「読む」ことはもちろん大切です。その知り得た情報を自らの糧とするエッセンスとして「目で見て、聞いて、足でかせぐ」ことを意識してアクティブに学びを深めていけるみなさんであってほしいと願います。

## ★「ブックピクニックのお手伝いをしませんか」★

日時: 2023年5月4日(木) 11:00~16:00

場所: 宮崎県総合文化公園美術館西側芝生広場 主催: 県公園管理課

内容: 公園利用者へ絵本や本の貸出、ハンモックの貸出、

絵本の読み聞かせ、しおりやミニ本作りなど

\*興味のある人は、図書館(司書)に4月28日(金)まで。